

科目名 (科目番号)	血液浄化機器学実習 (時間割参照)	教員名	堀内 勇人	学科等	医療技術	必修	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
				授業形態	実験・実習	オフィスアワー	木4 B214研究室	
授業概要	他の生命維持管理装置と同様に血液浄化装置を安全に取り扱うことのできる能力を身に付けることが必要である。このため本実習では水処理装置を含めて血液浄化装置の構造、各種モードの意味、警報への対処法など現場で即応できる知識と技術を習得する。またバスキュラーアクセスの接続法、血液流量や除水量の設定法、警報の設定法、保守点検法について実習を行う。							
目的・目標	目的： 血液浄化療法に関連した機器や設備についてその特徴や使用方法について理解する。 目標： 血液浄化療法を実施するために必要なプライミングの操作を安全に行うことができる。							
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	実習ガイダンス	到達目標： 医療従事者の心構え、実習時の注意事項について理解する。 学習内容： 実習室および実習機器使用に関する注意事項、レポートの提出方法					
	2	透析業務全般について	到達目標： 透析業務全般について一連の流れを理解する。 学習内容： 透析準備業務、穿刺関連業務、返血業務、終了後業務					
	3	水処理装置および多人数用透析液供給システムについて	到達目標： 透析液製造装置の構造と機能、操作方法について理解する。 学習内容： 水処理装置、多人数用透析液供給装置、A・B粉末溶解装置					
	4	透析用監視装置(ベッドサイドコンソール)および個人用透析装置について	到達目標： 透析用監視装置の構造と機能、操作方法について理解する。 学習内容： ベッドサイドコンソール、個人用透析装置					
	5	血液浄化療法の基本的技術(1)	到達目標： 透析器と回路の接続およびプライミング操作について理解する。 学習内容： ダイアライザ、血液回路の接続とプライミング					
	6	血液浄化療法の基本的技術(2)	到達目標： クリアランスの算出方法と手順について理解する。 学習内容： クリアランス、除去率の算出					
	7	バスキュラーアクセスについて	到達目標： 模擬血管を使用して穿刺の手順について理解する。 学習内容： バスキュラーアクセス、穿刺練習					
	8	保守点検について	到達目標： 各点検項目の確認方法、異常時の対処方法について理解する。 学習内容： 始業点検、使用中点検、終業点検、定期点検					
成績評価の方法・基準	レポート100%で評価する(対面・オンライン共通)							
教科書	資料等を配布予定							
参考図書	臨床工学 プラクティカル・フルコース ME機器保守管理マニュアル			川崎忠行 編 医療機器センター 監修		メジカルビュー社 南江堂		
教員からのメッセージ	臨床実習に関連した内容になっていますので、特に気を引き締めて臨んでください。また、レポートの提出期限は必ず厳守してください。レポートはコメントを付して授業内で返却します。 病院で勤務した臨床工学技士がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。							